

聴き合う関係を学習の基盤とした授業改善への取組

【宮代町教育委員会】

- 1 学校・学年・教科 中学校・全学年・全教科
- 2 ねらい「聴き合うことを中心にした学び合い学習」を行うことにより、一人一人の学びを保障し、学力の向上や「自尊感情」の高揚をめざす。

3 取組内容

(1) 授業「学び合い学習」の約束

- ・まず、自分で考える。
- ・わからないことをわからないと正直に友だちや先生に聞ける。
→ 苦手な生徒も学習に参加し、課題に取り組む意欲が継続できる。
- ・聞かれたら、相手がわかるまで丁寧に教える。
→ 得意な生徒もわかりやすく説明しようとすることで、思考力や表現力を高め、理解が深まる。
- ・質問した人を笑ったり、馬鹿にしたりしない。
- ・自分の意見、グループの意見を積極的に発表する。



(2) 座席の工夫

- ・基本はコの字型の座席で生活（お互いの顔が見える安心感と見られているという緊張感）
→ 「聴き合う関係」を作る。相手を見て話す、相手を見ながら聞く。
- ・4人班 男女混合4人班で市松模様、机をピッタリとつけて座る。
黒板に背を向けないよう廊下に平行に座る。

(3) 授業の展開

- ① 本時の目標を明確に伝え、授業の流れ（学習の見通し）を示す。
- ② 課題に取り組む。
「共有の課題」（全員が理解したい内容）とジャンプの課題（理解を深める内容）
- ③ まとめ（教師の働きかけと子どものふりかえり）

本時の目標に照らし、気づいたこと、わかったことを自分の言葉で簡潔に書く。 ➡ 評価

(4) 授業改善における3つの視点

視点1 教師の3つの仕事「聴く」「つなぐ」「もどす」

- ・聴く…子どものつぶやきや発言、書き表したものが何を根拠にしたものか、今までの学習のどことつながっているのか、教科書や資料のどこと関係するのかを聴く。見取る。
- ・つなぐ…子どもの発言を他の子どもの考えとつなぐ。
「どう、思いますか」「どこから、そう思ったの」「違う考え方の人はいませんか」
- ・もどす…考えが深まらないとき、つまづいているとき、資料や教科書に戻し、ふりかえって考えさせる。既習の知識や基礎的なことにもどして考える。
「もう一度教科書を見てみよう」「他の言葉で表現するとどうなるかな」

視点2 3つの対話「教材」「他者」「自己」

- ・「教材」との対話…読み込む。味わう。分析する。わからないところを見つける。
- ・「他者」との対話…わからないことを聴き合う。
- ・「自分」との対話…他者から得た情報（考え方や意見）と自分の考えとの相違点をもとに自分の考えを練り直す。

視点3 学習課題「共有する課題」と「ジャンプする課題」の設定

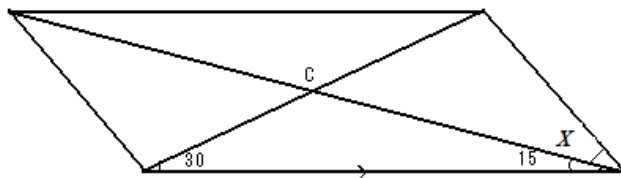
- ・共有の課題・・・教科書の例題と同じ程度、全員ができてほしい課題。
- ・ジャンプの課題・・・理解を深めるための課題。これが一番難しい！！
教科書の内容の理解を基礎として挑戦する課題。
(単に既習事項を使って簡単に解ける課題ではだめ。
自分一人では難しそうでも協力してがんばれば解決できそうな課題。

【ジャンプの課題例】

2年生「三角形と四角形」の単元の導入
授業のねらい

小学校算数で学んだ図形の知識や直感的な見方や考え方をもとに、自分の解答がただしいことについて、まず自分が納得し、他人をも説得することができるよう筋道を立てて考える活動の楽しさを味わわせ、論証の学習の導入とする。

右の平行四辺形において、 $\angle X$ を求めなさい。



*小学校での学習をもとにすると解けそうであるが解けない。

補助線をどう引くかが解決のポイント

*自分で考えながら、グループ内で聴いたり、説明したりし合う過程で、補助線の必要性、どこにどう引くかに気づくと簡単に角度が求められる。

○このときの教師の働きかけ

- ・教師の言葉はできるだけ少なくするよう心がける。
「教え合いなさい。」「班で話し合ってまとめなさい。」は禁句。
「わからないときは、遠慮しないで班の人に聞きなさい。」
「聞かれたら、丁寧にわかるまで説明してあげなさい。」
- ・聴き合う関係に入れない子どもに関わる。
- ・わかっている子どもが一人で進めているグループに、みんなの意見を聴くよう助言する。
- ・課題解決できずに挫折しそうな班に関わる。



4 成果と課題

全国学力学習状況調査で、“活用”が全国平均を上回ることができた。また、「分からないときは友達に聞く。」「聞かれたら丁寧に教えてあげる。」というスタイルが定着してきて、全員が授業に参加できている。

「共有する課題」では、学びが深まっていない生徒の実態が見えるようになった。さらに、「ジャンプする課題」を与えることで、学び合いがより活発に行われるようになった。

今後は、グループ学習の際に課題解決の進度に差が生じたときの支援方法、「聴く」「つなぐ」「もどす」の効果的な働きかけ、学び合いを深める「ジャンプする課題」の研究を続けていきたい。